

城北の 人教だより

城北地区人権教育推進協議会 発行
2016年度1号
〔2017年1月〕

「ホロコースト記念館」での学び

広島県福山市にある「ホロコースト記念館」を訪れ、 2016年
説明を受けながら見学しました。 8月27日(土)





～ホロコースト記念館の館長さんの言葉より～

「わたしの娘の書いた日記を読まれましたか？」
アンネの父、オットー・フランクさんとの出会いによって“ホロコースト”を知りました。記念館は、「一人一人が自分自身を変える努力をしてください」と語ったアンネの言葉に動機づけられています。

アムステルダムの、幅2m×奥行き4.6m×高さ2.6mの狭い空間から、アンネの日記は生み出され、彼女の心の叫びは今も色あせず人々に希望の光を投げかけています。

ここで、ホロコーストの時代のさまざまな生き様に触れて下さい。ホロコーストはヒトラーひとりが起こしたものではなく、2000年以上も続いていたユダヤ人差別、無関心や傍観者的な態度をとった普通の人たちの存在が背景にありました。またその中で、2万人以上の「正義の人」と言われる、善意の人々がいたことも忘れてはなりません。そして何よりもあなたが、「いかに今を生きるか」を問いかけてみて下さい。

◇「同情するだけでなく、平和をつくりだすために何かをする人になってください」

(オットー・フランク)◇

1971年4月4日、ナタニヤ(イスラエル)で、アンネ・フランクの父との奇跡的な出会いがありました。その後10年にわたり、親しい交わりがつづきました。1980年8月、オットーさんは91歳で亡くなります。

「平和をつくりだすために何かをする人になってください」このオットーさんの願いにこたえて、1995年7月、ホロコースト記念館(教育センター)が開設されました。〈…その後、2007年に現在の新記念館が開館。〉



Otto Frank

【ホロコーストとは】

「ホロコースト」とは、ギリシャ語で「火で焼かれたいけにえ」を意味します。(「ホロス」=すべて、「コーストス」=燃やす、の意)17世紀末には「大虐殺、皆殺し」を意味するようになりました。現在では「ナチス・ドイツ(1933~1945年)による、600万人のユダヤを中心とした大量虐殺をあらわす言葉」として知られています。1948年の国連総会は大虐殺という犯罪を、「明確な意図を持って国家、文化、人種、宗教などで結ばれた人々を全員あるいは一部、殺りくする行為」と定義しました。ホロコーストはその実例です。

文明国で、しかも選挙で選ばれたヒトラーは、「ユダヤ人として生まれた」という理由だけで、大人も子どももすべて殺そうとしました。その結果600万人もの命が奪われました。その中に150万人の子どもたちがいました。

〔虐殺のプロセス〕①区別…黄色い星、「J」のマーク ②はく奪…市民権のはく奪、財産没収 ③集結…追放(ゲットー(ユダヤ人だけが住む特別な地域)へ) ④特別行動隊…銃殺隊 ⑤移送…家畜列車で ⑥絶滅収容所へ